

平成29年2月七管内漁船海難 計6隻

2月も見張り不十分による衝突が発生しています。

漂泊中の貨物船が自船に近づく漁船を認め、衝突する恐れがあったので、漁船に対して発光信号を送りました。しかし、漁船の船長は信号に気付くことなく、貨物船と衝突してしまいました。

幸いにも、乗船者にケガはなく、船の損傷も軽い傷だけで済みましたが、見張りをしていれば防ぐことが出来た事故でした。

海難事故から、自分自身をしっかり守るために見張り等を怠らないようにしましょう。

常に見張りをしていますか



- 双眼鏡、レーダーなどを活用し見張っていますか
- 他の船舶、障害物、浅瀬が近くにありますか
- 今船がどこにいるか把握していますか

漁船海難隻数 (速報値)		
衝突	★	1
浸水	●	2
火災	▲	1
運航阻害	■	1
推進器障害	◆	1
合計6隻		

県別内訳	
	2月
山口県	0
福岡県	2
佐賀県	0
長崎県	4
大分県	0



県別内訳表は、各県に所在する海上保安部署の担当海域にて発生した海難の合計数を示しています。数値は速報値です。

もしも海中転落してしまったら？

海中転落による行方不明が発生しています。もしも海に落ちてしまった場合、

あなたは、自力で船上に戻ることが出来ますか？ハシゴなどの備えはありますか？

もしも、海中転落してしまい、船に戻ることが出来なかったら？

まずは、**落ち着く**ことが大切です。気が動転してパニックに陥ってしまいます。大きく深呼吸して落ち着いて冷静になりましょう。そして**焦らない**ことです。焦れば焦るほど体力を消耗してしまいます。

体の熱を奪われない姿勢**HELP** (Heat Escape Lessening Posture: 熱放出低減姿勢) をとりましょう。

付近に岩場等がある場合、波が穏やかであればそのまま**上陸**しましょう。しかし、磯波等があり危険な場合は逆に沖に向かって移動しましょう。是非、覚えておいてください。

